

◎ 定例会 「都心で公園ランチ弁当を楽しむ」5月11日(木) 参加者15名
ー東京ミッドタウンと 港区立 檜町公園 (ひのきちょうこうえん)ー

晴れのち曇り、雨が降る前に無事終了

ここは、江戸時代 長州 萩藩 毛利家の下屋敷があったところで、周りに檜の木が多かったことから「檜屋敷」と呼ばれ、「檜町」の地名の由来になったそうです。明治時代に歩兵連隊の駐屯地になり、昭和20年には米軍に接收されました。その後昭和35年に、霞ヶ関にあった防衛庁がここに移転し、昭和38年に檜町公園が開園しました。平成12年に防衛庁が市ヶ谷に移転になり、平成19年に東京ミッドタウンが跡地に完成、檜町公園が再整備されました。現在は、東京ミッドタウン付属の芝生広場と、大きな池を囲む回遊式庭園が楽しめる檜町公園が一体になっています。



広い緑のオープンスペースから回りを見渡すと、六本木～赤坂の超高層ビルが青空の下に建ち並ぶ風景が広がっていました。・目の前の東京ミッドタウン、・サントリーホールが在るツインタワーのアーク森ビル、・43階建ての住友不動産六本木グランドタワー、・高さ約330mで日本一の超高層ビルとなる麻布台ヒルズ、・家賃30～150万円のパークコート赤坂檜町ザタワー、等々です。

この日は、大江戸線 六本木駅 東京ミッドタウン方面改札に、午前11:20 男性7名 女性8名 合わせて15名が 手に手に美味しいお弁当を持って集合しました。これに先立ち、午前10:00過ぎ 伊勢丹新宿本店 地下1階のお弁当フロアで、思い思いのお弁当を購入しました。5分掛からないでお弁当を手にした人、30分ジックリ吟味して選ぶ人、各自お気に入りのお弁当を各々買いました。



東京ミッドタウンの芝生広場で丁度ピクニック体験イベントが開催されていたので、ピクニックシートやドリンク用ミニ膳を無料で借りることが出来ました。爽やかな風を感じながら、超高層ビルの日陰が広がる芝生の緑の上で、みんなでお弁当を広げました。どんなお弁当を選んだのかな、お店の名前やおかずの中身など、お隣の方や車座になったみんなに聞いて回ったりして、美味しいお弁当の話題に花が咲きました。



正午を過ぎて、太陽が超高層ビルの上を通り過ぎると、芝生広場に陽が当たり出しました。暑くなってきたので片付けて、超高層ビルの日陰に入った檜町公園に場所を移し、五十畑幹事(余興担当)の司会で歌声タイムを開催しました。この日、ギターを担いで参加した平永三千信さん(4月玄暉会入会)が準備した歌詞を見ながら、弾き語りですらっとユーモアを交えながら次々と繰り出される曲を歌うと、段々声が大きくなり、アンコールも出て皆で盛り上がりました。平永さん!大変ありがとうございました。

檜町公園では、豊かな緑の中に咲く白いヤマボウシの花や、木立の小径を抜けた池のほとり、明るい陽の光が水面に映る池を囲む生き生きとした緑も楽しめました。現代的な東京ミッドタウンの緑地帯では、薄桃色のシャクナゲが咲く並木道や、洒落たデザインのソファベンチが並ぶ、開放的な空間が楽しめました。様々な美味しいお弁当を持って、みんなで一緒に都心の広場へ行くと、こんなに楽しくなるとは思いませんでした。ご参加いただきありがとうございました。

